

越生ふれあいの里山

活動フィールド紹介説明要旨

- 1 場所及び地図
- 2 面積
- 3 森林現況（樹種、本数、地形、傾斜等）
- 4 活動の経緯
- 5 現在の活動内容
- 6 今後の活動計画
- 7 現在の活動の問題点

越生ふれあいの里山活動地 越生町上野地内

1-1 場所及び集合場所



越生ふれあいの里山活動地・航空写真図

1-2 場所及び活動地航空写真



越生ふれあいの里山 森林整備実施箇所計画図

2 面積 107ha

(県有林65.9ha、町有林41.1ha)

森林サポータークラブの活動地は、県と森づくり協定締結した面積は13.3ha 部分です。現在は約20haの面積で活動

3 森林現況

樹種及び平均的樹齢

杉 36～90年生 約42ha

檜 21～80年生 約63ha

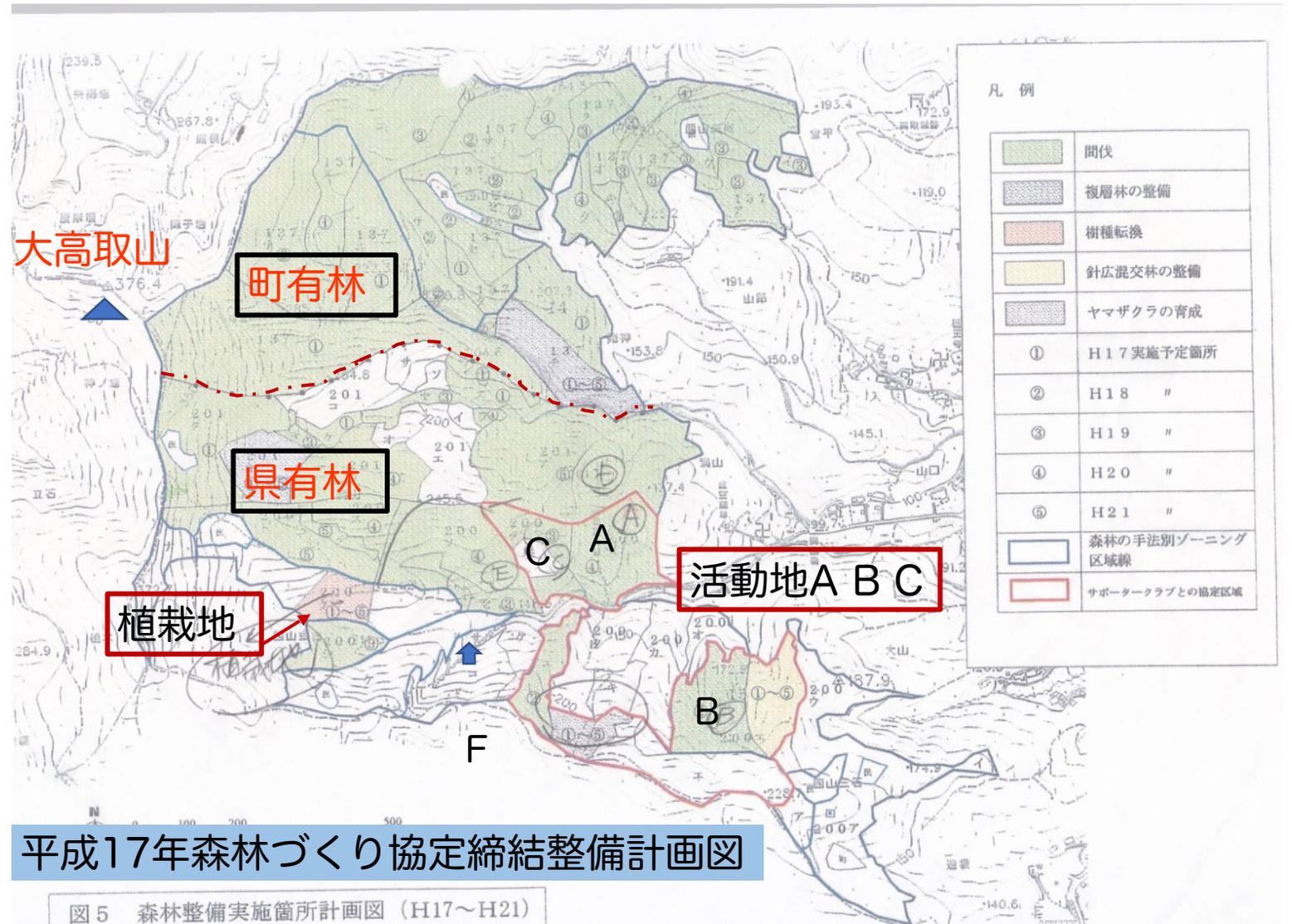
赤松 41～45年生
61～65年生 約1ha

その他針葉樹

51～55年生 約1ha

(合計107ha)

森林サポータークラブの活動地は
杉、檜 21～80年生、本数は不詳



- 平成11年 7月 「彩の国森林サポータークラブ」が越生町「さくらの郷」で下草刈り実施、活動を開始し継続する。
- 平成13年12月 「NPO法人埼玉森林サポータークラブ」設立「さくらの郷」で下草刈り、間伐研修、間伐体験講座等実施し活動継続する。
- 平成16年10月 県有林「さくらの郷」の森林整備計画が大幅に見直され県民に森林との様々なふれあいの場として提供し活用する人と共生のモデル林と位置づけ「越生ふれあいの里山」へ計画地の呼称が変更される。
- 平成17年 7月 県と「越生ふれあいの里山」森林づくり協定を締結する。
協定に基づき森林整備、保全活動を開始する。
- 平成19年 7月 「越生ふれあいの里山クラブ」を川越農林振興センター主導で設立。
「越生ふれあいの里山」を拠点とした森林整備、保全活動や体験交流活動を通じて多くの方が森林と触れ合い親しむことを目的としています。
＜所属団体 4団体＞ 上野二区、埼玉森林インストラクター会、
埼玉森林サポータークラブ、越生町緑とせせらぎを守る会

5 現在の活動内容

「越生ふれあいの里山」の現在の活動は、協定活動地域の森林整備活動と、森づくりや森林保全活動を行う団体の支援活動です。

- 通常の活動は、森林サポータークラブの拠点活動地として毎月第2日曜日を活動日としています。作業は下草刈り、除伐、間伐景観整備等、森林の保全管理作業です。
- 支援活動は、森づくり教育支援事業として「みどりの再生県立高校パワーアップ事業」に参加、杉戸農業高校、川越工業高校の下草刈り、間伐、除伐作業など森林管理学習を支援しましたが現在は休止しています。越生町梅園小学校の5年、6年生を対象に間伐、植樹体験の森林学習を継続支援しています。またオークネット社など森林保全、森づくり活動を行っている団体の間伐、除伐など森林体験や記念植樹活動を支援しています。

5-1 各年度ごとの活動内容と活動回数

越生ふれあいの里山 活動				
活動年度	回数	主な活動内容	参加者数	備考欄
2016年度 (平成28年度)	14	オークネット森づくり支援 (2) 杉戸農高間伐体験支援 川越工業高校森林学習支援 (2) 間伐・除伐林内整備 (9)	506	
2017年度 (平成29年度)	9	間伐・除伐林内整備 (6) 杉戸農高間伐体験支援 川越工業高校間伐支援、オークネット森づくり支援	298	
2018年度 (平成30年度)	4	オークネット森づくり支援、杉戸農高間伐体験支援 間伐・除伐林内整備 (2)	172	
2019年度 (令和元年度)	8	オークネット森づくり支援、植栽地下草刈り 間伐・除伐林内整備 (6)	229	高校生森林再生体験休止
2020年度 (令和2年度)	2	除伐下草刈り景観整備 (2)	30	新型コロナウイルス感染防止 対策で活動中止多数あり
梅園小学校森林体験支援				
活動年度	回数	主な活動内容	参加者数	備考欄
2016年度	2	5年生間伐体験支援、6年生植樹体験支援	57	植樹アジサイ山公園
2017年度	1	5年生間伐体験支援 (世界無名戦士の墓下部付近)	36	6年生植樹は雪で中止
2018年度	2	5年生間伐体験支援、6年生植樹体験支援	55	越生町植樹野末見晴台付近
2019年度	2	5年生間伐体験支援、6年生植樹体験支援	41	植樹上谷公園
2020年度	1	5年生間伐体験支援 (世界無名戦士の墓下部付近)	16	植樹新型コロナで中止
2021年度	2	5年生間伐体験支援、6年生植樹体験支援	46	植樹新さくらの山公園



虚空蔵尊安全祈願集合



オークネット森づくり看板



間伐鋸で伐木作業



間伐作業架かり木処理



ベンチ補修材切り出し



ベンチ補修作業



六角ベンチ山林パトロール



ベンチで休憩



除伐作業



急斜面の伐木作業



作業の合間、西瓜休憩



伐倒木の枝打ち



創立三十五周年記念植樹



間伐体験支援



ヤマザクラ記念植樹



森づくり十一年記念植樹



五年生間伐講義



六年生植樹手順の説明



五年生間伐作業



ヤマザクラ植樹



森林管理学習開会式



間伐木受け口作業



間伐木追い口作業



下草刈り大鎌使い方指導

7-8 現地活動写真 「川越工業高校支援」



間伐木受け口作業



大鎌の使い方指導



間伐作業終了休憩



下草刈り作業

6 今後の活動計画

- 越生ふれあいの里山協定の活動地域内の森林整備活動により山林の保全育成を継続して進め、間伐作業を増やし樹齢に相応した森づくりを行っていく。
- 森づくり教育支援、森林環境保全活動を行っている団体等の支援活動を森林に関する普及啓発事業として協力して進めていく。

7 現在の活動の問題点

- ヒノキ、スギは推定樹齢30～60年生に成長しています。間伐木は直径30～35センチ位のものが増えており十分安全を配慮した伐木作業が求められます。その為間伐本数は少なくなり山林整備の作業計画は徐々に進行するようになります。
- 世話役の後継者育成、世代交代の促進